

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市一番瀬通町・新潟県教育庁社会教育課内】
 【電話・(新潟)③6511 内線624・626】
 【振替 新潟 4094】
 発行人 会長 吉津 勝栄
 編集人 事務局次 本田 清
 一毎月1回 15日発行一
 【定価1部15円 年共・年換180円】
 題字 新潟県知事 塚田 十一郎

新潟県公民館月報

関フ口職員講習会終わる

県長期講習前期と合同

佐渡の三会場を移りながら受講

さる八月三日から七日の五日間、佐渡の大佐渡ロッジ、白雲荘、ホテル大佐渡の三会場を文部省、県教委主催、本会後援による関東甲信越静地区公民館職員研修会が県公民館職員講習前期講習と合同で開催された。参加者は十都県から二十五名、県内から二十五名、合計五十名ほどで、涼風の吹き込む高原の施設を回りながらの快適な研修会で、充実した五日間を過ごした。三日夕刻からドンデン山の国民五十数名が講師を交え、カラー映写機大佐渡ロッジを受け付けが始画「新編団体の記録」「観光の佐渡」その晩は県内外の受講者「波」等を地元神祇主事の解説で鑑賞民謡音頭」のレコードが紹介された。注目された。

第二会場の妙見山国民信會白雲荘へは、前日中にマイクロバスを連ね移動、午前中は事例発表、午後からは文部省社会教育課中島専門員による「公民館事業の企画と運営」について学び、六日は、前日の中島講師による「まず相談とカウンスリングの方法」、新生活運動協会田辺講師による「話し合いの進め方」とつき、さらに相川町大佐渡ホテルへと会場移り、最終日七日は、群馬大学学術奨励による「社会教育の当面する課題」を受講して各日程を終了し、おのりから台風十五号来襲警報の中、帰途の航海が憂慮され、途中中津郷する参加者などもあった。

県大会の反省 事務局移転問題も話題に

第 回理事会

さる7月29日新潟市柳水閣で第三回理事会が開かれた。古津会長以下8名の理事、県から五十嵐社教育主事が出席、本年度県大会の反省のほか、本会事務局の移転問題等につき協議した。内容はおよそ次のとおり。

●昭和40年度県公民館大会の反省について
 観光シーズン中にもかかわらず、最大級の努力をばらまいた。しかし、西津から三日間の時間余の運方で開催されたため、日程の制約があり、また、少数の佐

渡公連の職員が、それぞれの役割を分担しあい業務を遂行するをえなかつたため進行上種々の苦勞をともなうた。
 県大会は会公連の主題を受けて積み上げ方式をとっているが、実効が十分にいかんとしている。今後、県独自の考え方を打ち

出して運営した方がいいのではないか。
 分科会助言者、司会者、記録者は事前に充分打ち合わせの時間をとる必要があった。
 関東甲信越静公民館大会について、(9月3、4日)山梨県石和町で開催される本大会には、本県参加者の意志統一をほかり参加する。
 全国公民館大会について(11月16日、18日、佐賀市で開催)が県参加者は定並みをそろえて行動すること。

●全国表彰優良職員について(下)。
 ・中・下越公連から候補者の推せんを依頼、本会において、単位公連、県公連での活動実績等を調査しながら選考する。
 関東甲信越静地区公民館職員研修会について7月29日現在、県外からの参加者21名、県内はわずか14名のみという参加者で、主催の県教委では、今後に予定している後期講習(本研修会はいわゆる長期講習の前期講習を兼ねたもの)の運営に支障をきたすのではないかと憂慮しており、開催前日まで参加者の受け付けをするので協力してほしい旨の要請があった。

●関東甲信越静地区公民館職員研修会について(下)。
 事務局移転は保留依頼。本会事務局の移転について(過般以来、県社教連の社教課分室(自庁本館一階裏側)にあり現在教育放送室という名称で、視聴覚教材センターとなっている一室へ移転できないかという要望が本会事務局長を通じて出されていた。(理由は略)これにせよという方針で、やむを得ずともうとうとはむすかし過ぎてもいいというところを知り、知らない民衆を自由にするという弊害から救済の道はない。

目次

第14回全国公民館大会要項	P2
第6回関公連大会要項	P3
公民館活動要録記録集要項	P3
概観から見た都市別公民館事業	P4・5
県公民館大会参加記	P6・7

が、あわただしさの中にも充実した研修会であった。
 なお、本県受講者は、いわゆる長期講習の前期分を終了したわけで、今後新潟県青年の家で開催を予定されている後期分を受講してはじめて全コースを修了することになる。

ことばあり
 由らしむべく、知らしむべからず

前近代社会の法は一般民衆には知らせず、裁判を担当する権力者だけが承知して勝手な運用をしてきた。徳川時代の特定書目方条には「奉行中のほか他見あるべからず」というあと書きがついていた。現代の法は知らせよとせよという方針で、やむを得ずともうとうとはむすかし過ぎてもいいというところを知り、知らない民衆を自由にするという弊害から救済の道はない。

第14回全国公民館大会要項

主 催
社団法人 全国公民館連合会
九州公民館連合会ほか

後 援
文 部 省、佐 賀 県、佐 賀 市 ほか

協 賛
佐 賀 市 議 会 議 長 会 ほか

1. 趣 旨

全国公民館大会は、過去10数回にわたり、地域社会の生活文化を向上するための公民館のあり方を求めて研究討議を行ない、多くの成果を収めたが、その前途にはなお幾多の問題が横たわっている。

今次大会は、公民館関係者をはじめ広く一般の参加を求め、社会のはげしい変容に対処し、真に住民の要弊にこたえ、社会開発の基盤となる公民館の振興方策についての研究を深めようとするものである。

2. 期 日

昭和40年11月16日 (火) から18日 (木) までの3日間

3. 会 場

主 会 場 佐賀市佐賀県体育館
分科会場 佐賀県立図書館講堂、佐賀県庁正庁、佐賀県商工会館、佐賀県建設会館、佐賀県酒造会館、富国生命支社、佐賀新聞社大ホール、日本生命支社 (2会場)

4. 参 加 者

都道府県・都市公連役職員
公民館職員、公民館運営審議会委員
都道府県・市町村教育委員、同社会教育委員、同教育委員会事務局職員、同理事者および関係職員、同議会議員
社会教育関係団体役員、その他

5. 日 程

- < 第1日……16日 >
 - 9:00~10:00 受付
 - 10:00~11:10 開会式 (優良公民館職員表彰式を含む)
 - 11:10~11:40 オリエンテーション
 - 11:40~12:40 昼食 (民俗芸能観賞)
 - 12:40~13:00 会場移動
 - 12:00~17:00 分科会
- < 2日……17日 >
 - 9:30~12:30 分科会のまとめと全体討議
 - 12:30~13:30 昼食 (灯籠・優良公民館紹介)
 - 13:30~15:00 記念講演
 - 15:00~16:40 レクリエーションの交歓・公民館首領発表
- < 第3日……18日 >
 - 9:00~12:00 余体集会および社会教育施設 (有田陶磁美術館等) 有田焼工場見学
 - 12:00 閉会

6. 研究討議 (各分科会共通)

「公民館は、地域住民のよりよい生活を築くために、どのような方途を講ずればよいか」

7. 分科会の構成と研究討議の主眼点

部 会 名	構 成 員
経 営 部 会	
第 1 分 科 会	都道府県・市町村の社会教育行政担当者
第 2 分 科 会	都道府県・都市公連関係者
第 3 分 科 会	公民館職員

成 人 教 育 部 会 第 4 分 科 会	都市地帯関係者
第 5 分 科 会	農山漁村地帯関係者
青 少 年 教 育 部 会 第 6 分 科 会	都市地帯関係者
第 7 分 科 会	農山漁村地帯関係者
分 館・部 落 公 民 館 部 会 第 8 分 科 会	都市地帯関係者
第 9 分 科 会	農山漁村関係者
国 民 運 動 部 会	都市農山漁村関係者合同

8. 全体討議議題

- (1) 各部会の研究討議から生まれた問題
- (2) 各ブロックから提案された議題

9. ブロックにおける研究成果の発表

- (1) ブロック大会における研究成果は、各分科会ごとに、それぞれの分科会の研究討議領域に関する事項について、問題提起を主として発表するものとする。

10. レクリエーションの交歓

- (1) レクリエーションの交歓は、ブロックごとに1組あて参加するものとする。

11. 展 示

会期中、昭和39年度文部大臣表彰の優良公民館の写真紹介、および視聴覚教具等の展示をなす。

12. 視 察 見 学

- (1) 第3日 (18日) 陶工柿右衛門で有名な陶器の町 有田 (佐世保線、佐賀西方45キロ) の陶磁美術館、陶器工場等の見学と記念染焼を行なう。
- (2) 参加希望者は、染焼の準備の都合上、予め参加申込書に明記するとともに、大会第1日の受付でバス代280円を納入すること。(現地解散)

13. 参加申込および参加費

- (1) 参加費は1人につき400円とし、別に定める様式の申込書とともに、所属の都道府県公連事務局に9月30日までに申し込むこと。
- (2) 参加申し込みを受けたときは、参加費受領証と参加証を、各都道府県あてに送付する。参加証は大会当日受付に提示し、大会資料等と引き換えること。
- (3) 参加費は、参加しない場合も返還せず、大会終了後大会資料を本人あてに送付する。

14. 宿舎のあっ旋

- (1) 宿舎は佐賀市内の旅館を主として、あっ旋する。
- (2) 宿泊費はA級1,500円、B級1,300円、C級1,000円 (いずれも1泊2食付、税・サービス料とも) とする。
- (3) 宿舎の級別の希望は、参加申込書および一覧表に明記すること。
なお、宿舎の級ごとの割当は、収容能力の都合上、先着順に行なうこととし、希望に添えない場合は別に協議する。
- (4) 宿舎あっ旋希望者は、参加申込書に所要の事項を明記し、1人1泊につき予約金300円を添えて申し込むこと。予約金は宿泊費の一部に充当し、宿舎割当決定後は、宿泊しない場合も返還しない。
- (5) 予約金を添付しない場合、または大会当日の申し込みは、あっ旋を引き受けかねる場合がある。

第六回関東甲信越静公民館大会要項

1. 趣旨

前大会では、地域住民のよりよい生活と明るい社会を築くため、公民館の経営のあり方を求めて研究討議を行ない多くの成果を収めることができた。
今次第六回大会もさらにこの研究を深め、公民館経営上の課題の解決と今後の経営の指標をうちたてようとするものである。

2. 主催

関東甲信越静公民館連絡協議会 全国公民館連合会
山梨県公民館連絡協議会 山梨県教育委員会
石和町教育委員会

3. 後援

文部省 山梨県 石和町

4. 期日

昭和40年9月3日(金)～4日(土)

5. 会場

山梨県東八代郡石和町小松遊覧農場
(中央線いさわ駅下車徒歩15分)
(甲府駅前よりバスで20分)

6. 参加者

都県都市公運役員、公民館職員、公民館運営審議会委員、都県市町村教育委員、同社会教育委員、同社会教育職員、社会教育関係団体役員、都県市町村理事者及び関係職員

7. 研究討議題

- 1) 全国共通討議題(各分科会共通)
「公民館は、地域住民のよりよい生活を築くために、どのような方途を講ずればよいか」
- 2) 全体討議
イ 各分科会の研究討議から生れた問題
ロ 特に全体討議に付することを必要とする問題

8. 分科会構成

- 第1分科会「公民館の管理、運営」
○ これからの公民館施設、設備のあり方
○ 常勤専任職員の充実をはばんでいる要因とその対策
- 第2分科会「公民館における成人教育」
○ 社会変革に対応する成人教育の具体的計画
- 第3分科会「公民館における青少年教育」
○ 公民館は青少年のため教育の場をどう設定したらよいか
- 第4分科会「分館、部落公民館の経営」

○ 住民の生活課題を解決するため分館 部落 (町内) 公民館の役割

第3分科会「公民館と新生活運動」

○ 新生活運動を推進するための学習の内容と方法

9. 講演 「住民生活と公民館」

講師 大阪学芸大学教授 宇佐川満氏 (交渉中)

10. 日程

- 第1日
9:30～10:30 受付
10:30～11:30 開会式 オリエンテーション
11:30～12:40 講演
12:40～1:20 昼食
1:30～5:00 分科会
5:15～6:30 懇親会
終了後宿へ——夕食

第2日

- 9:00～10:30 分科会報告 全体
10:30～12:00 シンポジウム
12:00～12:30 大会宣言 閉会式

11. 参加申込み・参加費

- 1) 参加申込みは別に定める様式により、各都県公運事務局へ7月28日までに申込みこと。
- 2) 都県公運事務局は一括して大会事務局へ8月5日必着で申込みこと。
- 3) 参加費は一名につき300円申込みと同時に前納すること。
- 4) 参加費は不参加になった場合も返還せず大会終了後資料を送る。

21. 宿舎および、宿泊申込み

- 1) 宿舎石和町小松遊覧農場ほか石和町の旅館
- 2) 宿泊料 1泊1名1800円(4食、懇親会費を含む)
- 3) 宿泊申込み
イ 宿泊希望者は、参加申込書の該当らんに希望を記入して、1名につき予約金500円をそえて申込みこと。
ロ 予約金は宿泊費の一部に充てる。
ハ 予約金を前納しない場合、または、大会当日の申込みは、あっせんを受けかねる場合がある。

13. 大会事務局

山梨県甲府市丸の内一丁目六の一
山梨県教育庁 社会教育課内
第六回関東甲信越静公民館大会事務局

局長 野 沢 昌 康

TEL 甲府(2)1111(内線347)

ふるって御応募ください——県公連

一、趣旨

公民館活動を適切ならしめるため、直接その運営にあたる公民館職員の研究と実践の成果を集め、その発表を中心とする研究会にあわせ、実験地域公民館職員の研究および地区別研究協議会の基本問題研究会を開く。

二、実践記録の募集
(1) つぎの研究テーマに対する研究と実践の成果をまとめたリポートを募集し、適切と認められるものを選定して研究会で発表を求め、優秀なもの表彰する。

(2) 研究テーマ
○ ラジオ・テレビを利用した公民館活動
○ 新生活運動推進のための学習活動の内容と方法
○ 明るく正しい選挙推進のための学習活動の内容と方法
○ 公民館の広報活動
○ リポートの作成要領
○ 研究テーマのうちいずれか一種を選び、その研究と実践の具体的な概要を四〇〇字詰原稿用紙(〇枚以内)にまとめる(①用漢字、現代かなづかいにすること)
○ 実践記録はグループ研究によるものも差しつかえなし。
○ 規定の枚数を超過したものは

第12回公民館活動 実践記録募集 研究集会 の案内

審査の対案としない。

(4) 公民館名、職名、氏名(ふりがな)、住所、年令、生年月日を別紙に明記してリポートに添付する。

第一次 各都道府県公運(2)に送付
「推薦一名を決定(二位以下の入選者数は適宜とするものとし、手選の方法は各都道府県公運に一任する。各都道府県公運は昭和四十年十月末日(期日限)までに全公運に二推薦一編を推せんするものとする。

第二次 全公連は別に委嘱する審査員により、各都道府県の推せんする作品につき審査を行ない、各テーマごとに入選若干名を選定して研究会で発表を求め、最終審査の結果により、つぎのとおり賞状を贈る。

文部大臣奨励賞 一名
日本放送協会賞 若手名
新生活運動奨励賞 若手名
全公連会長賞 若手名
三、研究集会
推薦者一名を研究会に派遣する。

(1) 研究会は、昭和四十一年一月下旬(二泊三日)国立中央青年の家で開催する。

推薦者一名を研究会に派遣する。

推薦者一名を研究会に派遣する。

県社教課で昭和40年4月1日現在の県公民館概覧集計結果がでた。そのうち特に関心が深いとみられる郡市別公民館事業の開催数を発表する。

県公民館概覧から見た

郡市	事業名	青	婦	成	社	老	母	若	家	農	青	婦	成	一	政	産	生	衛	料	和	生	語	ラ	市	文	時	農	町	新	生	衛	婦	青	婦	映	料	生	民		
		年	人	人	会	人	親	妻	庭	業	年	人	人	人	般	治	業	活	生	理	洋	花	曲	オ	民	化	局	事	政	活	生	人	年	人	写	理	花	証		
		学	学	学	学	学	学	学	学	学	講	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座	座
新潟	潟岡	8				1	1		1			1	1	1									1	1					1	1										
長岡	高田	4	2												1										1															
三条	柏崎	4	2	1					2	1	1							1		2	4	2	1	1	3			2	1	1				2			1	1	2	
新発田	茂田	2	1		1	1		1	1	1												1																1	1	
加茂	十日町	6	1						2	6	14	2	2	3																								1		
見附	村上	4	1		1				7	7					1			3								2			1		1					2			1	
燕	直江津	3	5						1	1																										1				
尾川	糸魚川	1	1			1			10																															
井	新五	1							1															1																1
泉	両白	1														1																								
津根	市	8			1	1																																		
計		47	60	1	6	3	1	3	43	2	15	4	9	6	7	1	6	4	4	3	4	7	2	2	1	4	1	6	3	4	1	2	3	4	2	3	4	2	5	
北蒲	中蒲	22	22	1		5	1	1	15			2	3	2		1	1	1	1	1					2	2			3										1	
西蒲	南蒲	4	4						2			1																												
東蒲	三島	6	10				2	7	7	2	2	3	1		1	3		1		1			3	1	1	2	2	2	2	1	2		1	2		1	1			
古志	北魚	18	23		1	1		5	7	1	1	1					4																							
南魚	中魚	1	7		1			7	7						1	2	3		1		1				2	1														
三古	北魚	2	10					9	9	1	3	1			1								1	1																
北魚	中魚	7	8					3	3			1	1																											
南魚	中魚	11	19					10	10	1	3	3	2																											1
中魚	羽	2	2					1	1			2	1																											
羽	頸	14	1					2	2			4	2													2	1													1
東頸	中頸	7	9					1	1			1	1			4	1						1	2	1															
中頸	西岩	3	14	1		1	1	6	10			4	2	3	2		4		2	1	6	3			2	1	2													
西岩	佐渡	3	3					9	9			2	2			1	3	9							1	2	1													
佐渡	郡計	4	4			1		3	3			1	2			1								3	1	4	1													
郡計		1	5			1	1	6	6			4	2			3	2								2	1	1													
総計		88	157	3	9	4	12	90	14	22	27	14	2	13	14	11	22	6	14	20	6	8	12	15	9	5	13	110	17	2	16	17	21	12	6	18	5	3	9	

県公民館大会参加の記

① 始めて日本海の荒波を越えて開催された公民館大会、これだけでもその意義が深い。

② 金山の東史につづられる相川の町、奉行所跡の松風、一笠半里の荒波。大会場としての相川中学校の自然と歴史的条件は満点であり、道標や受付も整理されて地元関係者の苦心をしのびました。

③ 大会資料の表紙に、おけさをもつてこないと考へたの深さを感ぜました。色の調子も右側のゆたかりとした白の空の美は極めて効果的であるが、私であつたら写真の中の文字をの上部に移したかも知れません。

④ おけさの響登のバツジ、佐渡よく感じました。如何にして本大会を個性のたらしめるかの演出に苦心と努力を傾注されたかうかがわれて敬意を表します。

⑤ 開會宣言、国歌斉唱、優良公民館と職員表彰、いつものことながら温かいものを感じ、好ましいひとときであります。相川中学校生徒さんのプラスチック、真剣な演奏、胸に沁みるようなリズムと先生の振るタクトの姿が目につきました。ありがたう生徒の皆さん。

⑥ シンボジウム

⑦ 西野先生 若人の進むべき道を重点的におの意旨は其感を呼び公民館に理解深い行政の長を

持つ相川町の幸福をつちやましく思つた。

吉川先生 大会での顔ともいふべき先生の意見は貴重なものでありました。団体は条例もなごく大成功を収めた、公民館もこの精神でそれとのかは確かに核心になれた大切なことであると反省したが、はたしてこの比較において、公民館職員に勇氣と熱意がなないのであつたら私は自問せざるを得なかつた。

成沢先生 公民館は力を失つてきた感があるとの指摘に私自身を省み、自らよく感じようとしていられるものと感心いたしました。



山内氏

を作る。環境と人々と環境私は何故か淋しい気持ちが湧いた。

A 部会と分科会

分科会はつまらなかつたという声も聞きましたが、第一分科会は時間ももっと欲しいほどの内容あふ会でした。県大会となると遠い地域の参加者があるため、帰りの時間に大変制約されるので第二目の分科会報告は研究会ではないのだからなくてもよかつたように考えられ、速報に掲載された程度でよいと思う。それよりも折角の講演をゆつくり聞けるようにしていただきたいかと。同行の女性参加者は報告していました。

姿勢を楽にして大会を見る

山内 貞次

B テーマについて

テーマがむずかしいすぎる、もう具体的な化した方がよいとの意見があつた。確かに県公連、全公連と積み上げていく方針は理論的にもうなすけるが、県公民館大会は各地域の生の声をそのまま出すのであるから、せめてテーマを二本立にして現在のようにな積み上げ方式と県独自の極めて具体的なものを示してはと考へるのは私一人であるうか。

C 第五分科会

⑧ 郷土民謡とみやげ店

天下に名を馳せる、おけさに甚句いつみてもよい……この方々は音楽家のお方です、とのことわりがなければ、どうみても玄人の上手な方たちと思ひます。立派な文化財と私は感ぜました。めつたに公開されない春闘等ありがたいこととでした。心から関係者に対して

⑨ 旅館について

観光シーズンでさぞかし苦心のあつたことと係の方に同情的

⑩ 速報

簡にして要、文字も美しく、配布の係員もやさしかつた。担当者には敬意を表してのプリント作業であつたこと苦心が思ひました。

⑪ ささやかな提言

公民館大会は研究会とつづいてわけて一年毎に交互に開催したらどんなものか。あまり意気があがらない感を手とあるのは参加者が専門的になつて研究会の感があるからと思われ。研究会には人数が少くとも、うんほり下げたものと、大会の場合は運動的趣向をこらして、参加者も幅広く求め、特別講演だけでもゆつくりと聞き、質疑の時間も一たん休憩をとつてかまた始めようくらいにしては如何なものでしょうか。分科会も都合によつては省略する

テーマがむずかしいすぎる、もう具体的な化した方がよいとの意見があつた。確かに県公連、全公連と積み上げていく方針は理論的にもうなすけるが、県公民館大会は各地域の生の声をそのまま出すのであるから、せめてテーマを二本立にして現在のようにな積み上げ方式と県独自の極めて具体的なものを示してはと考へるのは私一人であるうか。

⑫ 講演

重松先生の講演は厚巻であつた。明快にしてわかり易くほんとうに勇氣を出さなければならぬと反省させられました。同行の若い職員は皆々公民館活動に疑問をもつていたが、本大会の重松先生のお話で深く得るところがあつたと感ぜていました。

⑬ 船上で

八カ月間の役員関係者の苦心はよく表れたものと信じます。会場もよかつた、企画も心であり、人数が減つても大丈夫な会場への入りが多く、後方にバタンと大きな音がして、後方にいた私には大いに気がかりな感じがした。これは自分の熱心でないことを裏書きしようなもので大ききなことはわれませんが好評くたしませう。(柳屋市公民館長)

⑭ 参加者雑感

島外から一五五人、ちよつとさびしいと思つた。しかし佐渡の方は金鳥あげての感があり特に婦人の方が目立つた。

第二日目の会場を公民館にしたのは成功であつた。細心なる配慮を感じました。駅に近く、街の中心であり、人数が減つても大丈夫な会場への入りが多く、後方にバタンと大きな音がして、後方にいた私には大いに気がかりな感じがした。これは自分の熱心でないことを裏書きしようなもので大ききなことはわれませんが好評くたしませう。(柳屋市公民館長)

感謝いたします。

私はみやげ店のほんごころを根気よく回つた。どの店も親切でした。押売りのなごころをあまりみかけず好感がもつた。また、どちらのお店も公民館大会の意識をお持ちのようでした。すげ登のバツジが効果あつたのかも知れません。

「この焼物はお茶を飲むのに極うのに勿体ない。芸術品です。見て楽しむものでしょう」と教へてくれた人もあり、私も今日公民館大会に参加してきましたとの婦人の方も店に立つていられます。

たしました。さすがに観光の佐渡です。宿泊の施設は充実しています。ホテル佐渡から相川ホテルに移された。私は会場に近くあつたかと思つたが、複雑な感情が流れた。しかし元気で素朴な中々気のきく相川生れの若い女中さんに好感が寄せられた。夜中に公民館の方が宿までわざわざ回つてあいさつにお出になつたのは恐縮しました。

⑮ 講演

重松先生の講演は厚巻であつた。明快にしてわかり易くほんとうに勇氣を出さなければならぬと反省させられました。同行の若い職員は皆々公民館活動に疑問をもつていたが、本大会の重松先生のお話で深く得るところがあつたと感ぜていました。

⑯ 船上で

八カ月間の役員関係者の苦心はよく表れたものと信じます。会場もよかつた、企画も心であり、人数が減つても大丈夫な会場への入りが多く、後方にバタンと大きな音がして、後方にいた私には大いに気がかりな感じがした。これは自分の熱心でないことを裏書きしようなもので大ききなことはわれませんが好評くたしませう。(柳屋市公民館長)

全力つくした：しかし：

速藤 廣

この四月公民館長になったばかりとスクラムを組み、黙々と陰のい雰囲気であり、頼もしい限りにりのこの道一平生が、人門早々にの努力をしてくれたいことを、改め県公民館大会の会場を引き受け、感謝しています。

主審が都市公事でも、終この大会を通じて、公民館長一した今日、抱元の不手際でい一年生の自分なりに気付いた点を、る不行き届きの多かったことを少し述べてみます。

第一に、この大会の準備期間中て努力したことを願ひ、自己を、幾度か開いた準備委員会で、極めています。会場地を相川に前これに出陣した高内の公民館主事き受けてからは、山本、慶主事をが総べて同志的な親しい結合体で中心に管内五人の主事が、がっちりあつたことを見て、誠に微笑ま

参加者はなすべきことをなせ

高橋 善明

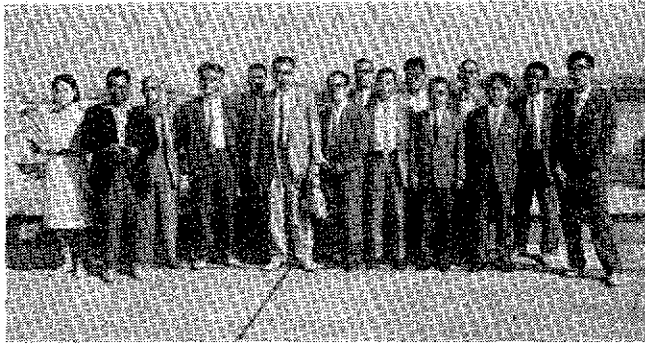
公民館の仕事にたずさわってか、と年余りの年数で、県公民館大

この感想について、ペンをとることを今後は五年毎あるいは十年毎にとは誠に心くするしとであるが、切りの替える必要があると思う。

事務局の要請があつたので感じた。私は第三分科会に出席した。

ことを思うままに述べた。まず分科会の人数は多すぎた。七人しか発言者はいなか

▲まず公民館職員、優良公民館等の表彰はこれを否定するものではな。お互いに質問や意見等発言ないが、式典というなら祭りのしたい者もあつたろうと思うが、な気分となつて本来の目的である。あの部屋に六十名余りも参加した研修が不活発に終つたように思え、ために、学校の生徒が並ぶような通して、体験を発表し、これ技術的にむすかしいと思うが、三からの活動の方向を生かす場、十名程度の配列がとるべき姿勢ではないか。シンボ



三重県公連一行が来県

佐和田町公民館などを視察

さる6月23・24日、三重県公連の一行が、先進地視察というこ

とで来県し、佐渡の佐和田町公民館などを視察、帰途本会事務局へ立寄っていった。一行は三重県公連会長野中林兵衛氏(写真左から六番目)以下同県北牟婁郡、尾鷲市などの館長、社教主事、公民館主事など14名で、佐和田町公民館の視察中たまたま同公民館で行なわれていた佐渡郡公民館主事会に同席し、意見を交したが、佐渡の公民館活動のすぐれている点、わけても訪問集会の普及ぶりなどに注目していた。帰途立寄った本会では、本会の事業、予算などについて本田事務局長の説明を受け、県庁分館屋上から新潟地震の復興状況などを視察、同日夜行で帰っていった。

お茶っぴイ子

81-10 作戦 うつが、かす



本紙とじ込みカバー

本紙「新潟県公民館月報」の表紙カバーができました。御希望のむきは一部送料共100円でお頒ちいたします。

県公連

(新潟県公民館主事)

場面もあり、これはお互いが遠慮者の良識に待つべきことと思うが、これも大会運営の周密なる時間が必要であることもその原因なく話し合える雰囲気にあるし、ひるがえって主催者が魅力ある計早期計画と、各公民館の事前研究の二つであると思ひますが、これとして、ありがたいことと思つて、両方をたてること、県内の各公民館等によつて、問題意識の高揚を計は討議低調の根本的な障害とは考

ています。次に大会第二日は第 館が出席者に喜んで出席できる一日目に比して出席者が減つたこと、重要な配慮をしてあげることが必要と助言者の簡潔な指導によつて、一人でも多くの人が楽な気持ちで発言・討議できる雰囲気を作つて頂きたいと思ひました。大会三を進めて頂きたいと希望いたします。(相川町公民館長)

▲重松先生の講演の中で、社会教育は今のような運営方法であれば「ゼロ」社会教育化する旨強調されていたが、私たち公民館人はこのことを謙虚に反省し、今後どうあるべきかを検討する時期にきているか否かを検討する必要があると思ふ。また成沢先生が講演の中

▲重松先生の講演の中で、社会教育は今のような運営方法であれば「ゼロ」社会教育化する旨強調されていたが、私たち公民館人はこのことを謙虚に反省し、今後どうあるべきかを検討する時期にきているか否かを検討する必要があると思ふ。また成沢先生が講演の中

修了証書は空手形

曲り角に立った長期講習

県公民館職員講習の受講者が年々減ってきて、ことばはいつに二十名たらずという低調さ。主催する県教委では拒否された。しかし県の公民館にとっては受講者がたとえ十名でも講習会はやりたくてほしいという気持もある。また次のような批判もある。それが曲がり角をひいていく。

佐渡の三会場で長期講習(前)自らが指揮していることとは異期(後)が関東甲信越地方地区公民館 社会教育関係の行事が佐渡に集中職員研修会(報告・県教委共催)しそれらの行事のために、県内かと合同開催された。参加者が、県らの参加者が分散したとことなど外二十五名、県内からわずか十五名地元佐渡の職生をよびこめても合計六十名定らずといわれて主催の原教委では、今後開催する予定の長期講習(後期分)の開催の方向と懸念の理由は、すでに長期講習は権威が失墜しているとい

う。県内参加が少ないという理由はない。それよりも大きな理由の長期講習(後期分)の開催の方向と懸念の理由は、すでに長期講習は権威が失墜しているとい

期講習は権威が失墜しているとい

う。県内参加が少ないという理由はない。それよりも大きな理由の長期講習(後期分)の開催の方向と懸念の理由は、すでに長期講習は権威が失墜しているとい

ことば三昧

盆の十六口踊らぬ者は
猫か杓子か花嫁か

この歌は、茨城県に伝わる盆踊りの歌である。かつて民謡の場において、すべての人々が歌い手として歌に参加する権利があることも、また参加するに流れるが潜在していたことを認め

盆の十六口踊らぬ者は
猫か杓子か花嫁か

この歌は、茨城県に伝わる盆踊りの歌である。かつて民謡の場において、すべての人々が歌い手として歌に参加する権利があることも、また参加するに流れるが潜在していたことを認め

有言実行も空手形

国民運動の必要性

佐藤首相の沖繩訪問計画が、ど

うやらむつかしくなってきた。北ベトナム爆撃の基地にアメリカが沖繩をつかいはじめたのが、いなく現地の民心を刺激して、日本政府の対米追従外交非難の世論が、日増しに強くなっているため、二十万の軍隊をベトナムに送り

人事消息

久川福扶氏 (南魚六日町教委) 七月一日付で
委社社主は、七月一日付で
回町城内支所長に榮転

田村景三氏 (新津市教委) 七月一日付で
教委主任に榮転

内山嘉雄氏 (小千谷市公民館) は六月付で同市職工課長補佐に榮転

あとがき

県大会が終ってほつと一息というところ。六面編集した新潟市の山内館長さん、県大会参加の記は愛憎のこもったレポートでした。こんな批評をもらったら、主催する者も地元の方さんにも参加者も、みんなあいたつことでしょう。山内館長さんありがとう。

投稿歓迎

長文でも短文で結構、折りにふれてペンを走らせてください。掲載文には感謝を差しつけておきます。(県公運)

レコードの購入館に本紙とじ込みカバールを贈呈

さき(御案内のように)公民館のレコードが完成し、本紙と一枚三〇〇円であらせんしているが、このレコードを購入した館に対しては、本紙「新潟県公民館月報」の表紙とじ込みカバール(原価二〇〇円)を贈呈するにいたしました。

あともがき

地元相川町の遠藤館長さんのレポートも、受け入れ担当者としての御苦心のあらわれが、あらわられてあり、いまさらながら頭のさがる思いがします。